

多くの島々や半島、入江から成る長崎県は、古くから海を通して、中国、朝鮮半島、西洋など多くの国々との交流を重ねてきました。外交、貿易、技術や思想の流入、これに伴う人々の往来など、「日本の対外交流史」を語るとき、長崎を抜きにすることはできません。

そこで、県では、よそにはない本県ならではの特徴的な歴史テーマを選び、県内各地に残る数多くの文化遺産が語りかけてくる歴史物語を描き出しながら、その魅力を発信する「ながさき歴史発見・発信プロジェクト」に取り組んでいます。

●「旅する長崎学」の発刊

長崎県の歴史物語をビジュアルにわかりやすく紹介するガイドブック「旅する長崎学」を発刊し、本県の多彩で特色ある歴史・文化の価値や魅力をPRしています。

「キリスト教」「近代化ものがたり」に続く三つめのテーマとして、今後、海・島を舞台に繰り広げられた大陸との交流について描き出していくことにしています。

ながさき歴史発見大学

去年度から、県内の大学等と連携して、主にシニア層をターゲットにした滞在型旅行企画「ながさき歴史発見大学」を開催しています。学びと観光を組み合わせた一週間程度のプログラムで、長崎の歴史・文化の講義や、教会や観光地を訪れる小旅行などを行います。

歴史と旅の遊学サイト
「旅する長崎学」たびなが
<http://tabinaga.jp>

盛りだくさんの内容で、より楽しく、より身近に長崎の歴史を感じることができます。

- ・歴史発見コラム
- ・歴史まんが
- ・歴史散歩
- ・歴史クイズ
- ・プレゼントなど

「旅する長崎学講座」の開催

海外からの文化や情報を全国へ、また、日本の文化や情報を海外へと伝える日本情報発信地であった長崎には、全国各地から多くの人々が集い、さまざまな交流が生まれました。こうして、文化や情報の結節点として活躍した長崎県は、歴史的に全国各地とつながりを持っています。

そこで、各地域と本県の歴史をひもとき、その関連性を強調して魅力を伝える「旅する長崎学講座」を首都圏やゆかりのエリアで開催し、本県の魅力発信の核となる長崎ファンづくりに取り組んでいます。

●「旅する長崎学」を活用した旅行の企画

ながさき巡礼

カトリック長崎大司教区と連携して、本県のキリスト教の歴史や文化に触れ、癒しや安らぎを感じる新しい旅「ながさき巡礼」の企画を進めています。現在、教会見学時の基本となるマナー周知やガイドの養成などを実行しています。

繁栄から彈圧、そして二五〇年間もの潜伏を経て奇跡の復活を遂げるという、世界宗教史上類を見ない歴史。各地に残る数々の文化遺産が語りかけてくるキリスト教の物語を描き出すシリーズです。

①長崎で「ザビエル」を探す
 ②長崎発ローマ行き 天正の旅
 ③二十六聖人殉教、島原の乱から鎖国へ
 ④「マリア像」が見た奇跡の長崎
 ⑤教会と学校が長崎の歴史を語る

○別冊総集編
 キリスト教文化の旅 長崎へのいざない
 ※韓国語版も発売中

西洋の知識や技術、文化がいちはやく伝わり、日本近代化のさきがけとなつた長崎県の姿を描き出したシリーズです。

①長崎は「知の都」だった
 ②長崎は野外産業博物館
 ③西洋と東洋が出会った長崎居留地
 ④レトロ長崎おしゃれ発信地

長崎県ならではの歴史・文化の魅力を発信

●本県の歴史・文化の物語を描き出す

●「旅する長崎学」の紹介

キリスト教文化編

「旅する長崎学」の紹介

多彩な歴史・文化を活かした 郷土づくり

海外との長い交流の歴史を持つ長崎県。その歴史と風土に育まれた固有の文化が、今もなお私たちの暮らしの中に息づいており、本県特有の魅力となって、多くの人々を惹きつける輝きを放っています。県では、このような魅力にさらに磨きをかけ、国内外に発信することで人々の交流を生み出し、地域の活性化や観光の振興につなげるため、さまざまな取り組みを進めています。

